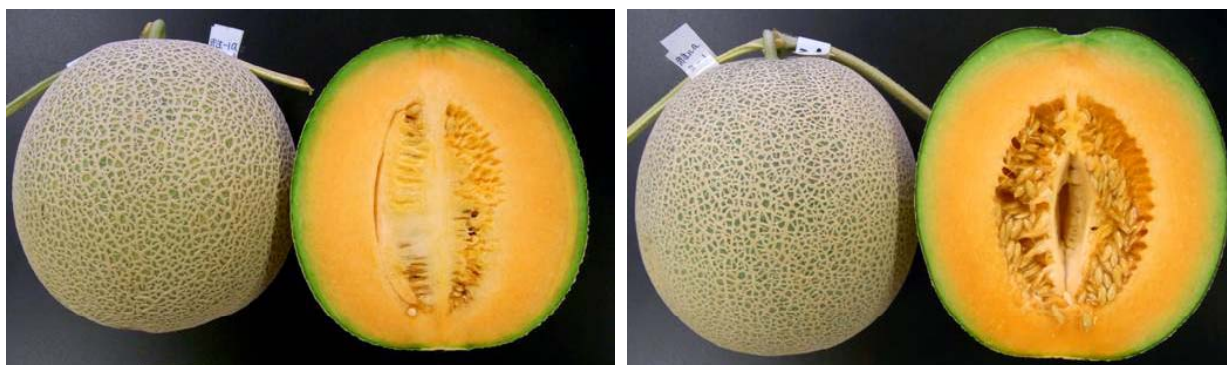


● 新 品 種

■ 病害虫に強くておいしい赤肉メロン「空知交20号」



↑ 果実の比較 左：「空知交20号」 右：「ルピアレッド」

■ 寒さに強く、イネ科牧草に優しい
放牧用小葉型シロクローバ「北海1号」



↑ 「北海1号」 開花期の草姿



↑ 「タホラ」(左)と「北海1号」(右)
のサイズ比較

■ つるつる美肌の極大粒大豆新品種「中育60号」



↑ 「中育60号」の子実
左：「中育60号」 右：「ユウツル」
(裂皮の発生程度が異なる)

← 「中育60号」の草本
左：「中育60号」 右：「ユウツル」

■ コムギ縞萎縮病に強くうどんこ病に強い 小麦新品種「北見83号」



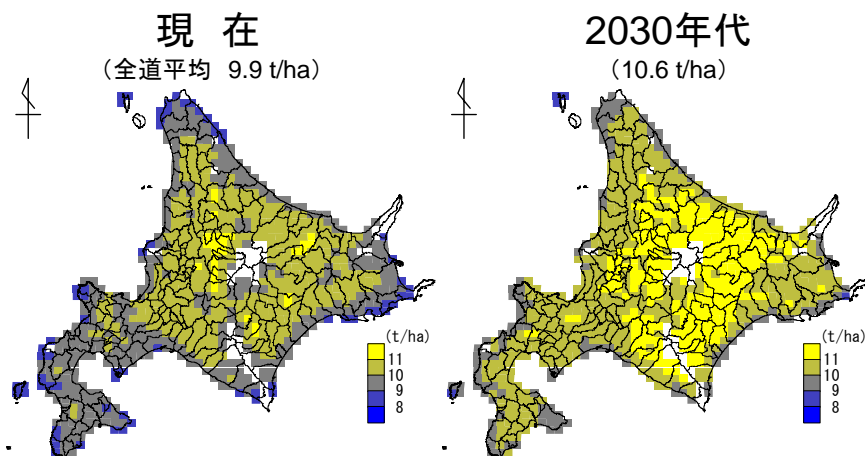
↑「北見83号」の草本
左：「きたもえ」 右：「北見83号」



↑「北見83号」の穂(上)及び子実(下)
左から「北見83号」「きたもえ」「ホクシン」

● 新 技 術

■ 地球温暖化の道内農作物への影響は？～2030年代の予測と対応方向～



現在および2030年代のてんさい糖量推定マップ

次式より算出. 糖量=根重×根中糖分, 根重(t/ha)= $0.034 \times (4\text{月中旬} \sim 6\text{月下旬の積算最高気温, } ^\circ\text{C}) + 11.512$, 根中糖分(%)= $-0.0062 \times (7\text{月上旬} \sim 10\text{月上旬の積算最低気温, } ^\circ\text{C}) + 25.0329$. 2030年代の気温はYokozawaら(2003)のCCSR/NIESIによる. マップにはてんさい作付実績のない地域も含まれている.

■ 夏に楽しんで、秋にとる！ミニトマトの新栽培法

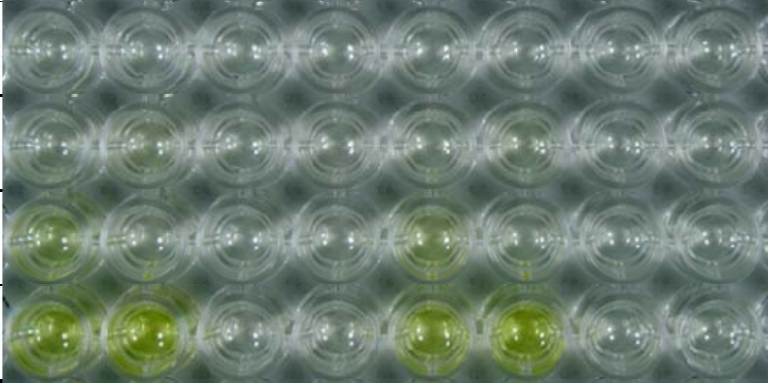


↑ 摘房による収穫時期調整
8月上中旬に収穫を迎える果房を早めに切り取り、株への負担を減らすことで秋に大きな果実がいっぱいとなります。



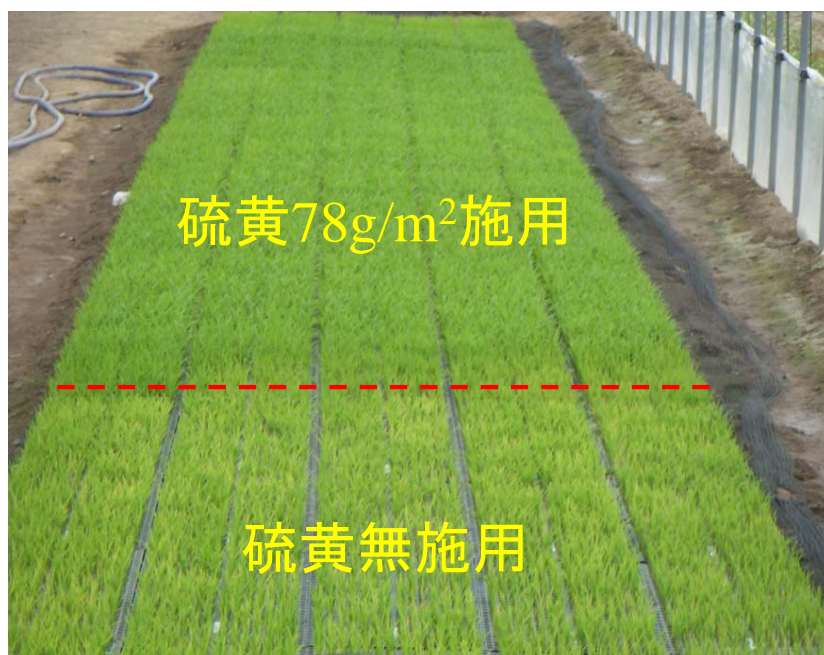
↑ セル成型苗直接定植による省力化
セル成型苗は通常の苗より小さいので植えるのが楽で、育苗期間も短くて済みます。
(右上：セル成型苗、右下：通常の苗)

■簡単・高精度！ばれいしょ・ながいも・ねぎのウイルス病診断

処 理 方 法	反復1				反復2			
	病葉1	病葉2	健全葉	バッファ ーのみ	病葉1	病葉2	健全葉	バッファ ーのみ
常法 →								
ながいも バッファーのみ →								
凍結処理のみ →								
ながいもバッファーと 凍結処理の組合せ →								

↑ ながいものCYNMVのエライザ法の改良
改良により黄色の発色が強くなり、判別しやすくなっている

■有機農産物の安定生産のための技術



↑ 水稻苗立枯病に対する硫黄施用の効果（成苗ポット）



↑ 春まき小麦に有効な除草用機械
左：玉カルチ、右：スプリング除草ハロー

● 現地普及活動事例

■ 戦略作物で、地域農業がバリューアップ!!



↑ 左：水稻直播栽培現地研修会

○重点地区で行った水稻直播栽培試験ほ場での夏期現地研修会
中：アスパラ現地研修会

○モデル農家を対象としたハウスアスパラガス現地研修会

右：通年被覆アスパラガスハウス

○冬季間もハウスのビニールはかけたままです。



■ 粘質土壌の透排水性改善による畑作物の安定生産



↑ 左上：平成18年6月の長雨によるてんさいの湿害

右上：平成19年1月7日の降雨による小麦畑の凍結

左下：ハーフソイラ導入時の現地検討会（広幅型心土破碎機）

右下：傾斜均平作業（レーザー発光器からトラクタ装着受光器へ）